

DALI 1ch. コントローラ

NTS-LC/SD1CH/01

製品仕様

- 品番 NTS-LC/SD1CH/01
- 定格電圧 AC100V~240V (±6%)
- 動作電流 15mA以下
- 定格周波数 50Hz/60Hz共用
- 制御信号出力 DALI(DT6)信号 100mA MAX
- 制御信号消費電流 4mA(コントローラ本体)
- 使用温度範囲 0~40°C

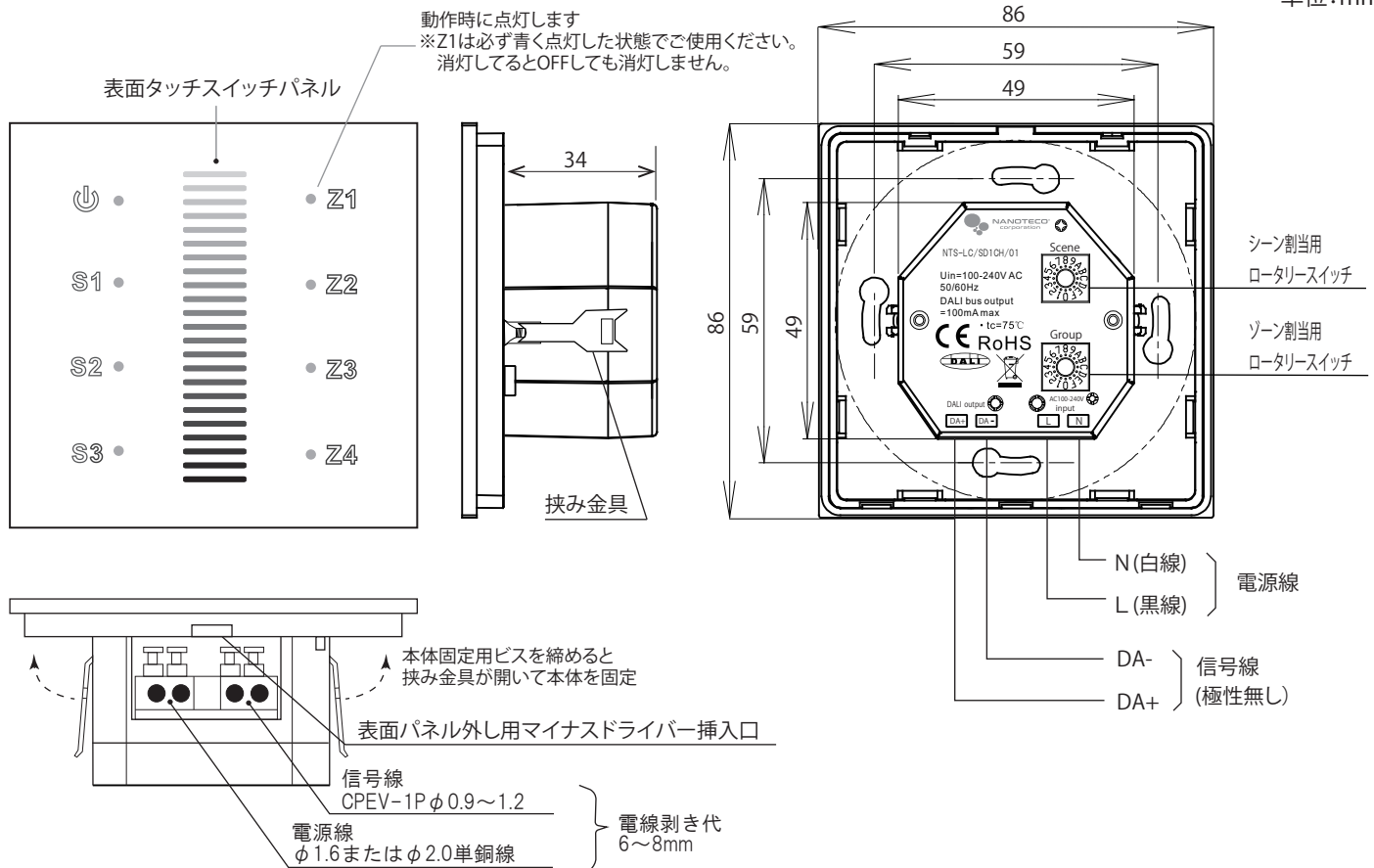
適合機器

DALI DT6 調光対応LEDドライバーに適合します

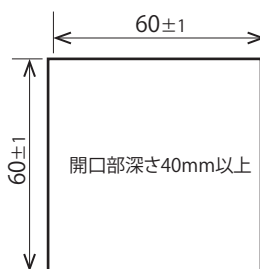
株式会社ナノテコ 東京都調布市小島町1-1-1
 国立大学法人 電気通信大学
 UECアライアンスセンター 418号室
 TEL.042-486-6711
 info@nanoteco.com

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
 取付工事は電気工事に必ず依頼してください。
 この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

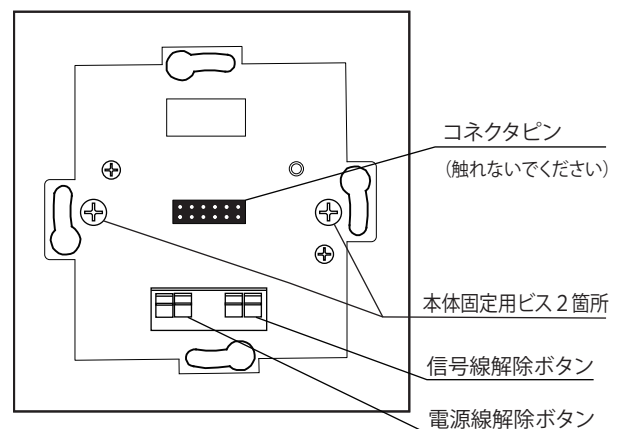
単位:mm




【取付穴寸法】



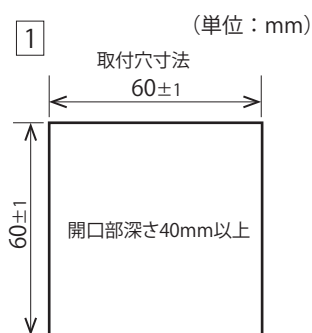
【表面パネルを外した本体】



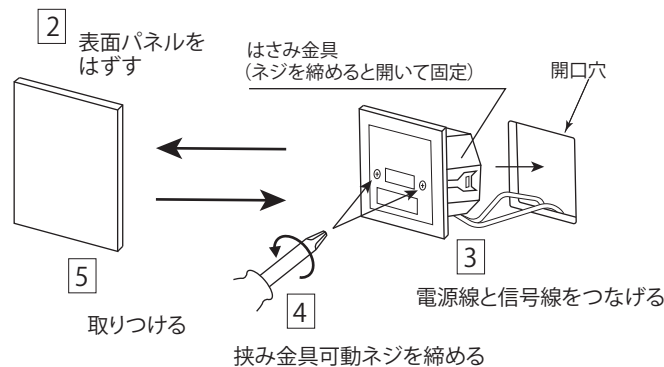
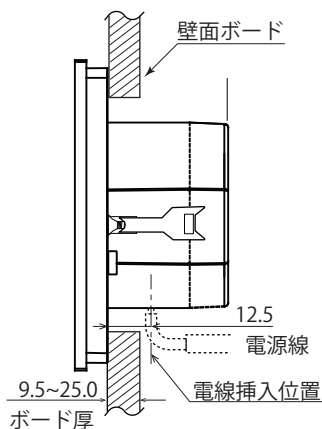
 3台目以降は電源接続不可
(火災の原因)

取付方法

取付手順



コントローラ取付面のボードが厚い場合は電線とボードの干渉にご注意ください。



1. 本体取付用の穴(寸法60mm±1×60mm±1)をあけてください。
2. 本体の表面パネルを外してください。
3. 配線図に従い本体に電源線、信号線(極性なし)を接続してください。
※電線の剥き代はどちらも6~8mmです
※2台以上設置してご使用される場合には必要に応じて背面のロータリースイッチの設定をしてください。(次頁のご使用方法参照)
4. 本体を開口穴に入れ、ドライバーで本体固定ビスを締めてはさみ金具で確実に固定してください。(ビスを締めると挟み金具が開きます)
5. 表面パネルを本体に取り付けてください。

器具設置台数

コントローラを使用する条件に応じて下記表のように最大接続数が変わりますのでご注意ください。

使用条件	最大設置数
コントローラ1台設置の場合	50台
コントローラ2台以上設置した時に コントローラ2台にAC給電する場合	64台

ご注意: 64台を超えて器具を設置した場合は65台以降の器具はDALIのアドレス設定はできません。

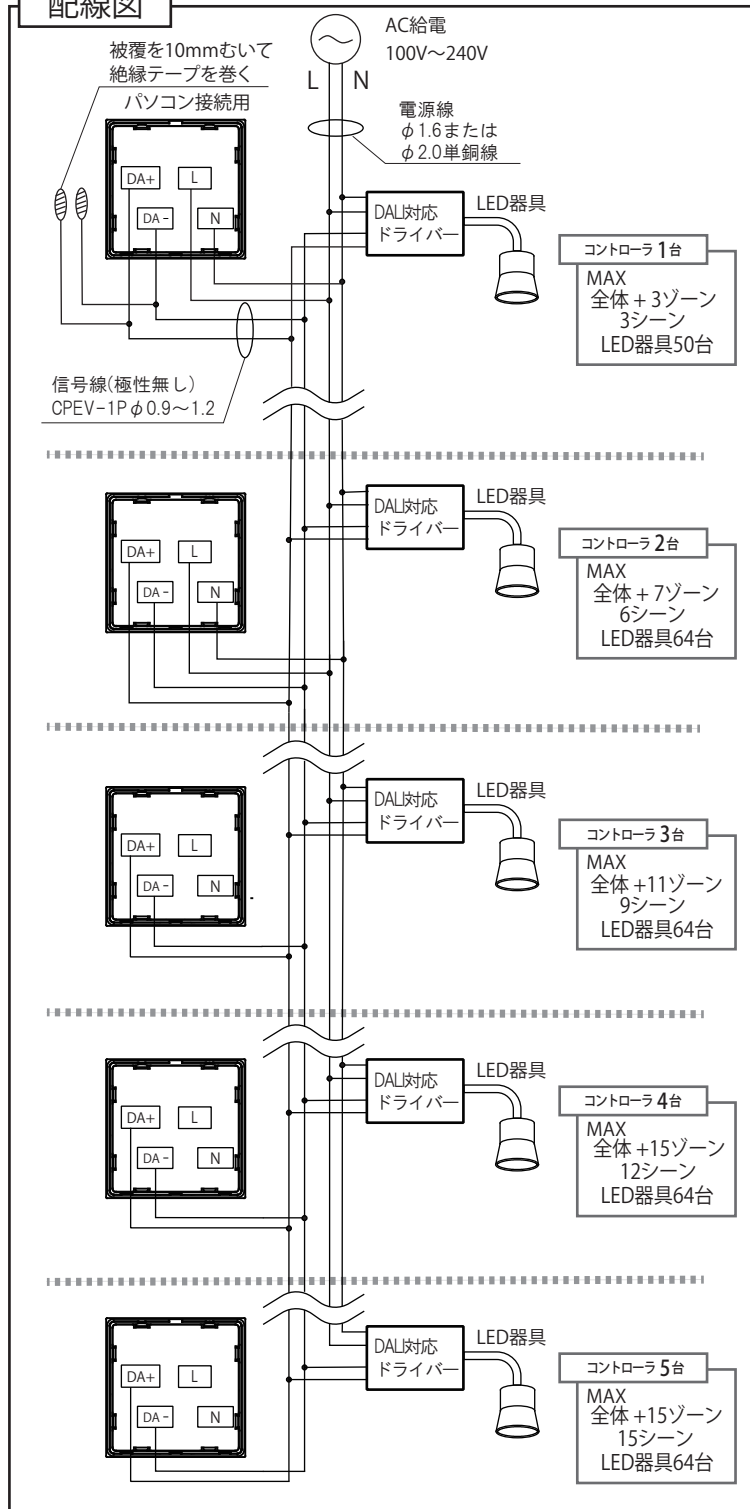
※コントローラを2台以上使用する場合AC給電は1台のみで他のコントローラは信号線接続のみで動作いたします。
尚、負荷を50台を越えて接続する時はコントローラ2台にAC給電してください。(3台目以降のコントローラにはAC給電しないで下さい。火災の原因になります)

結線方法

- 結線の際は必ず電源を切ってから行ってください。
- 電源配線はφ1.6またはφ2.0の銅単線をご使用ください。
- 信号配線はCPEV-1P φ0.9~φ1.2をご使用ください。
- コントローラを2台以上使用時1台には電源線と信号線を接続し残りのコントローラには信号線のみ接続してください。
この場合、設置器具台数は最大50台となりますので50台を超えて器具設置する場合はコントローラ2台に電源線と信号線を接続してください。但し、3台目には電源線を接続しないでください。
- 信号線最大配線長: 200m(100mを超える場合はφ1.2電線で施工を推奨)
- ゾーン設定するための信号線を(長さ10cm)接続してコントローラ設置場所の壁裏に出しておいてください。

ご注意: 3台以上のコントローラにAC給電すると正常に動作しなくなり、火災の原因になります。

配線図





ご使用方法

- 各操作はコントローラ表面を指でタッチして行います。
- 電源の入/切はタッチスイッチで行ってください。(表示灯 黄色でOFF、青でON)
- ゾーン(Z1~Z4)を押すと表示灯の青がON/OFFします。調光調整スライダーでは、表示灯が青のゾーンの器具を制御できます。
- ゾーンボタンを長押しすると、対象のゾーンの器具の入/切ができます。
- 特定のゾーンだけを選択(表示灯が青)して入/切ボタンでOFFにすると、該当のゾーンの器具だけが消灯しますが、残りのゾーンの器具の操作ができなくなります。その場合、再度入/切ボタンでONにして消灯したいゾーンボタンを長押ししてください。
- 同時に複数のゾーンの表示灯を青の状態にして調光しないでください。ゾーンごとに個別に調光操作をしてください。
- 明るさを最小にしても消灯しません。入/切ボタンで消灯してください。
- 本体に通電した瞬間は一瞬明るく点灯しますが直後に電源遮断する前の明るさに戻ります。
- 出荷時はZ1ボタンで全ての器具を制御できる設定になっており、Z1ボタンの表示灯が青く点灯しています。


シーンの設定


- シーンボタンのS1、S2、S3には明るさを記憶させる事ができます。
【シーンの記憶方法】
① 記憶させたい明るさに調節します。
② シーンボタンを長押しするとボタンが点滅した後、一瞬明るく点灯しその後調節した明るさになります。
③ ②の設定後はシーンボタンを押すと調節した明るさになります。
- 2台以上のコントローラで6種類以上のシーン設定をする方法
1台のコントローラにはシーンボタンは3個ですがコントローラ背面にあるロータリースwitchの位置を変更してシーン割当を変更し最大で6台のコントローラを使用した場合16種類(0~15)のシーンを設定する事ができます。
2台目以降のコントローラで、シーンとして設定される対象の器具は、ゾーン割当用ロータリースwitchで本器具に割り当てたゾーンに含まれる器具が対象です。全ての器具を対象とする場合は、右下の【ゾーン割当図】のように、コントローラのゾーンボタンに割り当てるゾーンに全ての器具を含めてください。
(この場合、個別に制御可能なゾーンは最大12個となります)

2台のコントローラを使用する例

コントローラAのロータリースwitchを0、コントローラBのロータリースwitchを3に設定すると下記の様になり、0、1、2、3、4、5の6種類のシーンを設定する事ができます。

コントローラA、Bのロータリースwitch位置

Scene
 コントローラAのロータリースwitchを0にするとS1ボタンは0番、S2ボタンは1番、S3ボタンは2番に割り当てられます(シーン割当表参照)

Scene
 コントローラBのロータリースwitchを3にするとS1ボタンは3番、S2ボタンは4番、S3ボタンは5番に割り当てられます(シーン割当表参照)

コントローラA (ロータリースwitch 0) S1 S2 S3 コントローラB (ロータリースwitch 3) S1 S2 S3

《シーン割当表》

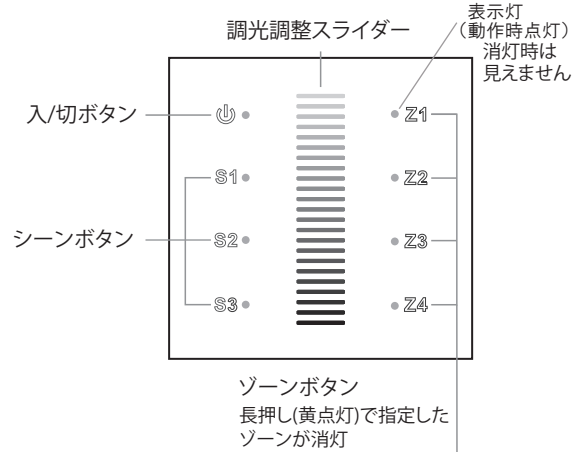
ロータリースwitch 位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
S1シーン割当番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
S2シーン割当番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	0
S3シーン割当番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	0	1

グループの設定 のご説明は裏面をご覧ください。

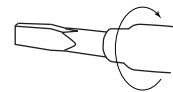
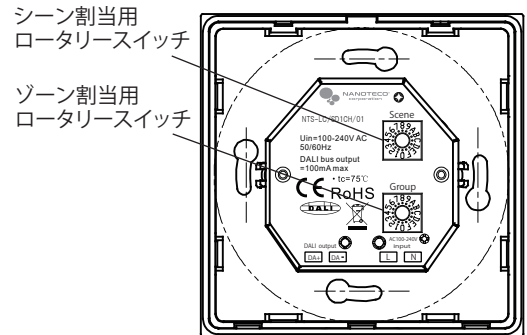
ご注意

コントローラ毎に設定したシーンは、そのコントローラに設定されているゾーンのみ制御が可能です。
全ての器具に対しシーンを設定する為には、シーン設定するコントローラのゾーン割当用ロータリースwitchを0に合わせるか、または、ゾーンボタンの一つに全ての器具を指定する設定をしてください。(DALIアドレスの設定)

【コントローラ表面】

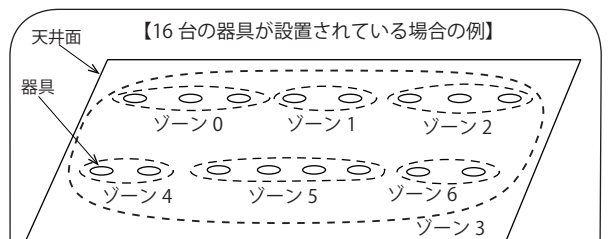


【コントローラ裏面】



ロータリースwitchは細いマイナスドライバー(幅2mm)で位置変更をしてください
→の先端部が所定の位置にくるように回してください。

【ゾーン割当図】



図では16台の器具を6つのゾーンに分けてゾーンごとに点灯、消灯、明るさの変更が可能になります。
また、ゾーン3を全ての器具を含むゾーンとして設定することで2台のコントローラで各々全器具と個別の3つのゾーンを制御することができます。

グループの設定

- ゾーンボタンのZ1、Z2、Z3、Z4には異なるゾーンを設定することができます。

1台のコントローラにはゾーンボタンは4個ですがコントローラ背面にあるロータリースイッチの位置を変更してグループ割当を変更し最大で5台のコントローラを使用した場合16種類(全体、0~14)のゾーンを設定することができます。

但し、全ての器具にシーンを設定する為には全ての器具を指定するゾーンボタンがひとつ必要ですので、全てのコントローラで全ての器具に対するシーンを設定する時には5台のコントローラを使用した場合に設定できるゾーンは15種類までになります。

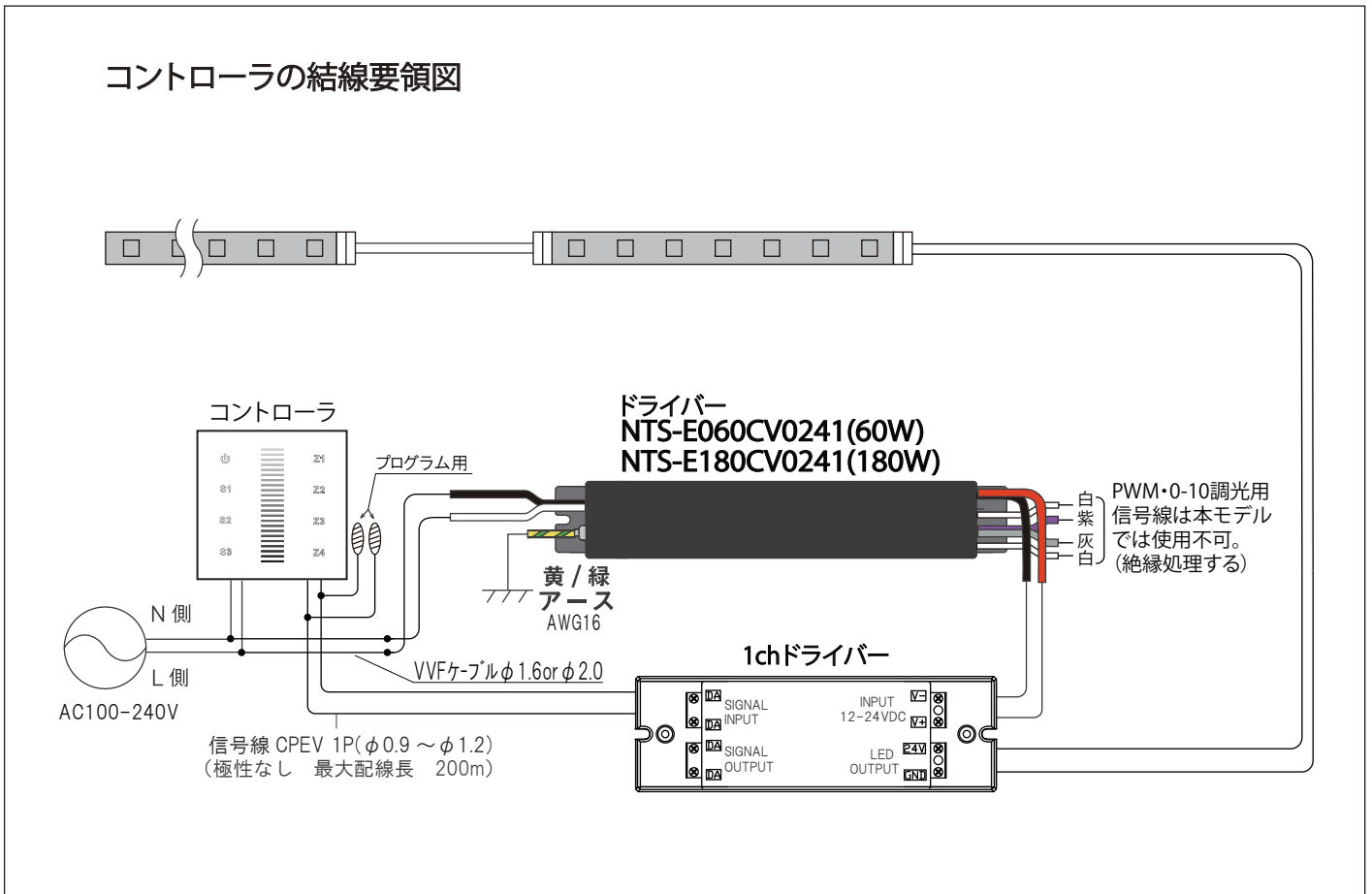
ゾーンの設定ではパソコンを使用して器具にDALIアドレスを割付する必要があります。(設定用ソフト、USB-DALIインターフェースも必要)
(詳しくは弊社営業担当にお問い合わせをお願いします)

コントローラ A (ロータリースイッチ 0)	Z1	Z2	Z3	Z4	コントローラ B (ロータリースイッチ 4)	Z1	Z2	Z3	Z4
	全体	0	1	2		3	4	5	6

《ゾーン割当表》

ロータリースイッチ位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
Z1ゾーン割当番号	全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
Z2ゾーン割当番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体
Z3ゾーン割当番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体	0
Z4ゾーン割当番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体	0	1

コントローラの結線要領図



注意事項

- 器具は説明書に従って正しく取り付けてください。電気工事は必ず電気店や工事店等の有資格者が行ってください。
- 表示されている定格を守ってください。定格負荷以上になるとコントローラが壊れます。
- このコントローラは半導体を使っており、周囲温度の高い場所では故障する事があるので、使用温度範囲(0~40℃)は必ず守ってください。使用湿度範囲(8%~80%)を超える場所や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
- 複数の器具で調光をした場合、器具のバラツキにより明るさが一致しない事があります。
- 調光をした場合、器具のドライバーからうなり音がでる場合がありますが故障ではありません。
- 端子台に電線を差し込む時は奥まで確実に挿入してください。電線の挿入不足は故障や火災の原因になります。曲がった電線、傷のある電線、変色した電線は使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- 複数のコントローラを設置した場合、操作しているコントローラが優先されます。
- このコントローラは雑音防止回路を備えてありますが、ラジオ・ステレオ等の音響装置に雑音障害が生じることがありますので、次の予防対策を行ってください。
 - ラジオ・ステレオ等の装置にアースを確実に取付けてください。
 - ラジオ・ステレオ等の装置にアンテナを取付けてください。
 - コントローラとラジオ・ステレオ装置等のアンテナ・アースとは1m以上離してください。
- ちらつきが発生する場合がありますのでコントローラの電源は他の電気製品とは別電源にしてください。(他社調光器含む)
- お手入れについての注意事項
 - 汚れた時は柔らかい布で拭いてください。
 - 汚れがひどい時は布に水を含ませ硬く絞ってから拭き取ってください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤等は表面仕上げを傷めるので使用しないでください。